

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合事象が対象になります。

平成23年2月1日に不適合管理委員会で審議された不適合事象は、下記のとおりです。

1. GⅠグレード 0件

2. GⅡグレード 2件

NO.	号機等	不適合事象	原子炉安全上の影響度合い
1	3号機	ほう酸水注入系機能検査の完了後、今定検中に実施予定であるポンプの潤滑油フィルタ(B)本格点検について未実施だったことが確認された。当該フィルタについて点検。	GⅢ以下
2	その他	事務所内ネットワーク機器の1つに障害が発生し、事務所内のネットワークが全停した。予備の事務所内ネットワークへ手動にて切り替えを実施し復旧。原因調査。	GⅢ以下

3. GⅢグレード 5件

NO.	号機等	不適合事象	備考
1	6号機	ホットシャワードレン系収集ポンプ(A)吸込弁の弁棒に指示模様が確認されたため、当該弁棒を修理。	
2	6号機	タービン大物搬出入口にて、管理区域側から非管理区域側へのワイヤー搬出時に、搬出作業員のB手袋(管理区域内で使用する手袋)にワイヤーが引っ掛かり、手から抜けたB手袋が一時的に非管理区域側に出たが速やかに回収。当該B手袋に汚染がないことを確認済み。	
3	2号機	運転圧試験時に、試験圧力である常用圧力を加圧する昇圧過程で、原子炉隔離時冷却系の検出元弁のシートリークが発生した。当該検出元弁を点検・修理。	
4	2号機	高電導度廃液系収集タンク(A)点検時に、内部鏡板に約20箇所の腐食による凹みが確認された。当該タンクを点検・修理。	
5	その他	硫酸希釈タンク液位が上昇したため、調査したところ補助ボイラー硫酸注入ポンプの出口逆止弁等にシートリークを発見した。当該弁等を点検・修理。	